

公開セミナー 「グリーン経済と資源効率-UNEP国際資源パネルによる最新研究成果と資源効率政策動向」

資源効率を超えて： 先進国と途上国の連携に向けて

公益財団法人 地球環境戦略研究機関
経済と環境グループ ディレクター

小嶋 公史

2012年11月6日 東京コンファレンスセンター

持続可能な開発：開発の目的

Sustainable development: Development of what?

開発：より高いレベルの幸福へ（Higher level of happiness）



他者（世界）の幸福への貢献

自己実現

基本的欲求の充足（貧困からの解放）

持続可能な成長の対象（Growth we can sustain）

- 一人でも多くの人々が、より高いレベルの幸福に到達
- 地球的課題は枯渇しない！

世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない。(by 宮澤賢治)

絶対的デカップリング

Absolute decoupling

効率改善の限界 (Limits of efficiency improvement approach)

- 経験的事実: 資源効率改善、しかし資源消費は増加
- GDP成長依存メカニズム(金融、社会保障など)



幸福-GDPデカップリング (Happiness-GDP decoupling)

- 経験的事実: 先進国ではGDPと幸福度の相関が低い
- GDP減少と幸福は両立可能

絶対的デカップリング = “幸福-GDPデカップリング” × 資源効率改善

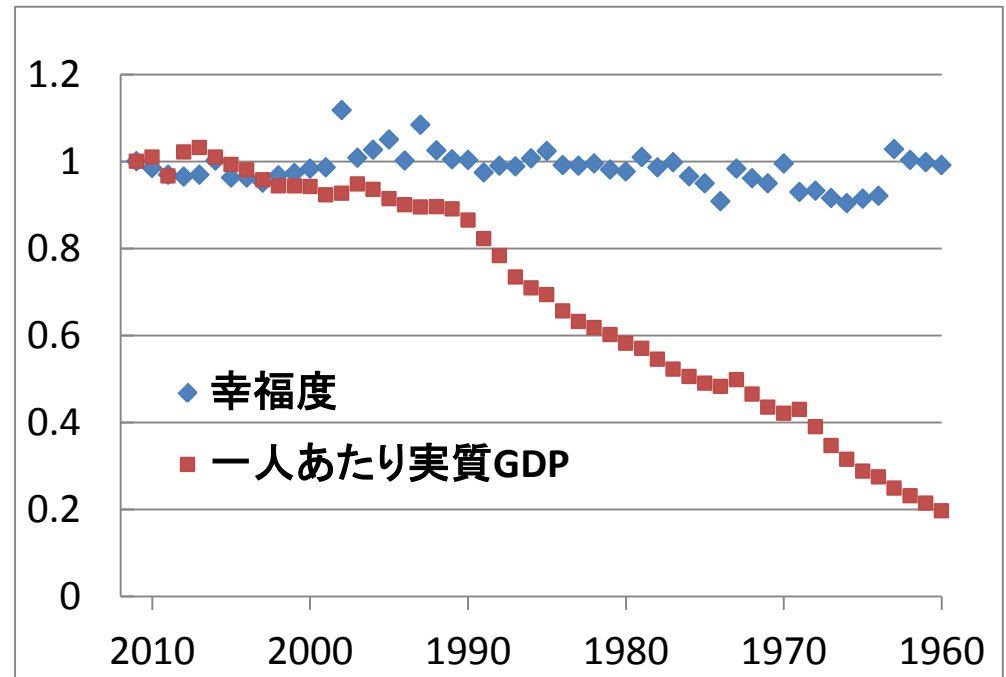
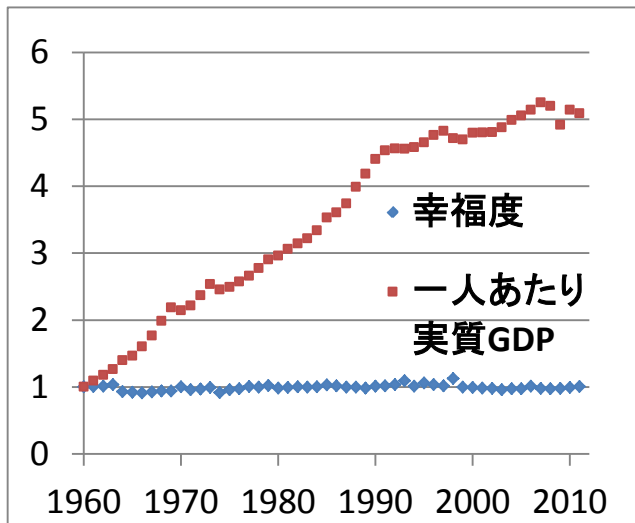
幸福-GDPデカップリング

Happiness-GDP decoupling

日本の幸福度と一人あたり実質GDPの経年変化

(2011年=1)

(1960年=1)

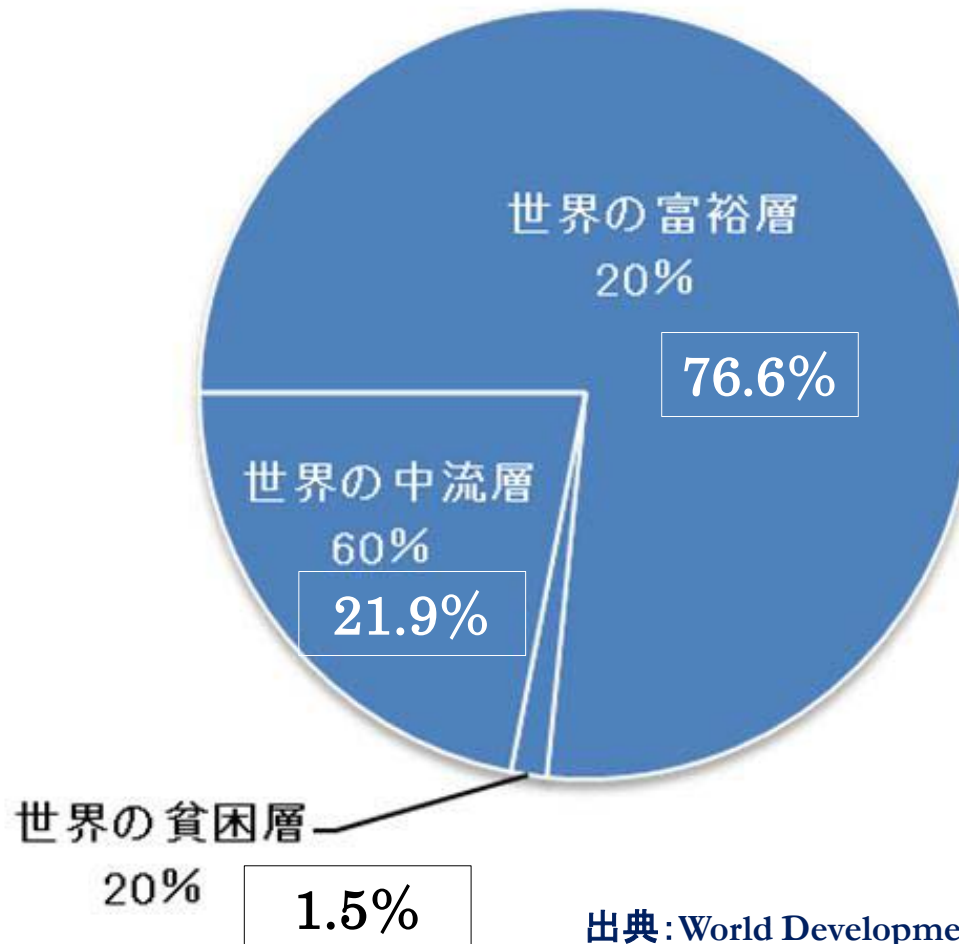


出典: 幸福度: Veenhoven, R., World Database of Happiness (Accessed on 23Oct2012 at: <http://worlddatabaseofhappiness.eur.nl>)
GDP: World Development Indicator 2012

過剰消費と過少消費

Over-consumption vs. Under-consumption

世界の所得階層別最終消費分布(2005年)



出典: World Development Indicator 2008

先進国と途上国の連携に向けて

Towards cooperation between over- and under-consuming countries

過剰消費国：資源利用削減下での幸福社会実現

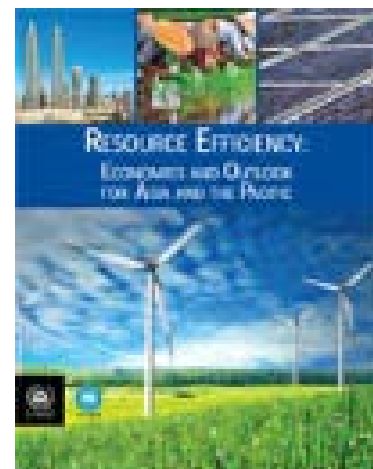
- GDP成長依存モデル脱却(幸福-GDPデカップリング)
- 過少消費国のグリーン経済発展支援(他者の幸福への貢献)

過少消費国：資源効率的なグリーン経済発展

- エネルギー・水アクセスの確保(グリーンインフラ整備)
- 環境問題への対応

IGES研究プロジェクト

- ライフサイクル環境影響の見える化
- 静脈ビジネスの国際展開
- UNEP REEO報告書への貢献



Resource Efficiency: Economics and Outlook for Asia and the Pacific